

1 テーマ

ICTを活用した個別最適な学び・協働的な学びの充実について（3学年 国語科）

2 テーマ設定の理由または、課題

本校は、小規模校ではないが、校区の小学校には熊小学校、上阿多古小という小規模校がある。それらの小学校の生徒は清竜中学校に入学し、その人数の多さから自己をなかなか開示できない生徒いる。それらの生徒にとって個別最適な学びを実現し、他の小学校出身者と協働的な学びができれば、清竜中学校の生徒としての活躍が期待できると考え、本テーマを設定した。

3 実践内容

本校社会科教諭の実践

単元・題材 「現在に続く日本と世界」

本時の目標 1960～70年代の世界の出来事について、報道写真や新聞記事から人々の願いを通して、冷戦構造の変化の様子を考察している。（思考・判断・表現）

<p>○学習活動・生徒の表れ</p>	<p>・支援、留意点 ☆キャリアの視点 ◇評価</p>
<p>○1960～70年代の世界の出来事を伝える報道写真をもとに、学習課題を確認する。</p>	<p>・ベトナム戦争やキューバ危機、日中平和友好条約の写真を、資料名を隠して提示する。</p>
<p>世界では何が起こり、人々のどんな行動が冷戦下の世界を変えたのだろう。</p>	<p>・前単元を振り返り、米ソの対立が世界各地で緊張をもたらしていたことを確認する。</p>
<p>○世界の出来事を調べて付箋に書いたり、画像を収集したりして、班で情報を共有する。</p>	<p>・インターネットや資料集から集めた情報は「jam board」で共有するように指示する。</p>
<p>・1965年からベトナム戦争が起こった。 ・報道写真や新聞記事をきっかけに、世界中で反戦運動が広がり、アメリカは撤退した。</p>	<p>☆報道の重要性や世論の高まりが政治を動かすことに着目させる。 ・情報どうしをラベリングする。</p>
<p>○jam board に書き込んだ情報をもとに、学習課題について考察する。</p>	<p>◇1960～70年代の世界の出来事について、報道写真や新聞記事から人々の願いを読み取る活動を通して、冷戦構造の変化の様子を考察していたか。</p>

4 こんな実践できたらいいな…。

個人テーマの実践にあたり、どのような実践ができるか、さまざま検討してみた。時に、児童生徒書写作品コンクールのための書写指導を行う時期であった。テーマに合った指導方法を考え、実現可能かどうかを情報機器に詳しい教師に相談した。しかし、現状では実現できそうにないことがわかった。「個別最適な学び・協同的な学び」として有効な指導法かと思われるので、ここに構想を紹介し、近い将来実現可能になればと考える。

国語科書写指導について

- ① タブレット端末クロムブックを活用する。
- ② お手本となる課題文字の運指の動画を繰り返し視聴できたり、静止画にすることが出来たりする。
- ③ 生徒自身が書いた作品を写真にとり、お手本の横に並べる。（もしくはお手本に重ね合わせることが出来る）
- ④ 生徒自身が書いた作品を他生徒に公開し（オクリンク）、意見や評価を求めることができる。
- ⑤ お手本との比較や他生徒の意見や評価を自身の作品に反映させ、繰り返し練習し提出作品を仕上げる。

5 成果と課題

社会科の授業は、指導主事訪問時の授業であった。参観後の指導主事の御指導でも、「個別最適な学び・協同的な学びである」と紹介された。授業者によれば、個々の興味に従って、自分のペースでインターネット資料等を探すことが出来たこと。また、班で情報を共有することで、学習内容が深化・補充され、さらに意欲的にインターネット資料の検索に結びついた授業であったこと。「Jam board」に書き込んだ情報は多面的・多角的な視点での情報があり、一人では考察できなかった内容まで深く考察できた生徒が多かったこと、などを振り返っている。

本校は中学校としては、情報教育（情報機器利用の授業や各種実行委員会や生徒会での利用）が進んでいるようである。しかし、今回初めて小規模校教育の研修会に参加させていただいて、小規模校ならではの取組を学び、まだまだという感想ももっている。自身の取組は調べ学習などの「ちょっと使い」程度の実践なので、「本格的な学び」に活用できるよう研修を深めていきたい。